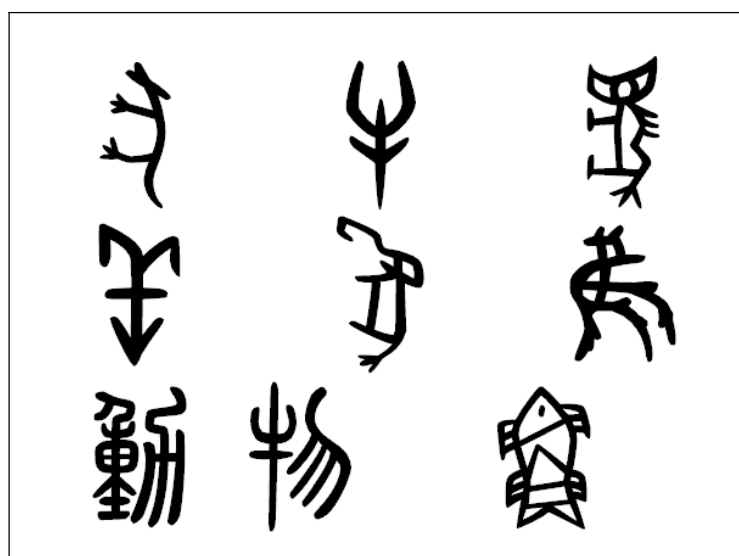


漢字音読名人

《 5 年 》



3 学期

名前

東書配列

「漢字音読名人」の進め方

表のページは練習に使います。裏うらのページは、友達との聞き合いに使います。
一漢字ずつ、読めるようにしていきましょう。

①まず、表のページで読む練習をします。

・何度も声に出して読み、――を引いた漢字のふりがなを見ないで読めるようになるまで練習します。
線の引いていない漢字は上の学年で習う漢字ですから、ふりがなを見ながら読んでもいいです。

★意味の分からない言葉があったら、必ず先生に聞きましょう。

②線を引いた漢字が、ふりがなを見なくても読めるようになったら裏うらのページでチャレンジします。

・友達に聞いてもらい、正しく読めていたら、サインをしてもらい、次の漢字に進みます。

・先生が決めたゴールの漢字まで進んだら、元にもどって、二回目にチャレンジ。

・三回目もゴールまで進み、サインが三つそろったら、「音読名人」です。次のゴールをめざしてがんばりましょう。

似

似顔絵を
にがえ描いてみたけど少しも似てない
かすこに

私の顔は親に似ている。
わたしはおやに



母には和服がよく似合う。
ははわふくにあ



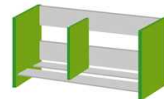
類似品にご注意ください。
るいじひんちゅうい



製

石油から
せきゆいろんな製品が製造される
せいひんせいぞう

図工で本立てを製作する。
ずこうほんたせいさく



日本製の自動車がよく売れる。
にほんせいじどうしゃう



私が作った特製のケーキ。
わたしつくとくせい



能

努力して
どりよく不可能を可能にする
ふかのうかのう

合格



何にでもよく効く万能薬。
なににもよくきばんのうやく



君には音楽の才能がある。
きみおんがくさいのう



能力を過信して油断する。
のうりよくかしんゆだん



156

似

似顔絵を

描^かいてみたけど少しも似てない

サイン

☐ 私^{わたし}の顔は親に似ている。

☐ 母^{はは}には和服がよく似合う。

☐ 類似品にご注意ください。


157

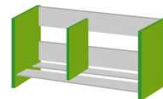
製

石油から

いろんな製品が製造される



サイン

☐ 図^ず工^{こう}で本立てを製作する。

☐ 日本製の自動車がよく売れる。

☐ 私^{わたし}が作った特製のケーキ。


158

能

努力して

不可能を可能にする

合格



サイン

☐ 何^{なん}にでもよく効く万能薬。

☐ 君^{きみ}には音楽の才能がある。

☐ 能力を過信して油断する。


証

証拠・証明書
しやうめいしよ「証」は「間違いない」こと
まちが
☐ 身分証明書を見せる。
みぶんしやうめいしよ

☐ 三年間保証の電化製品を買う。
さんねんかんほしやうでんかせいひん

☐ 裁判に証人として出る。
さいばんしやうにん

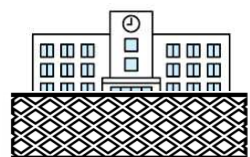

豊

稲が豊かに実り
いねゆたみ今年は大豊作だ
ことしだいほうさく
☐ 表情が豊かでよく笑う人。
ひやうじやうゆたわらひと

☐ 今年はカツオが豊漁だ。
ことしほうりよう

☐ 本を読むと知識が豊富になる。
ほんよちしきほうふ


囲

学校の周囲を
がっこうしゅういフェンスで囲む
かこ
☐ 花壇を柵で囲う。
かだんさくかこ

☐ 公園の周囲に木を植える。
こうえんしゅういき

☐ 城の周りは敵に包囲された。
しろまわてきほうい


159

サイン

証

証拠・証明書

「証」は「間違いがない」こと



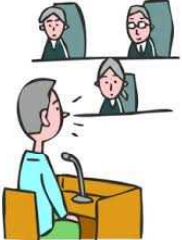
□ 身分証明書を見せる。



□ 三年間保証の電化製品を買う。



□ 裁判に証人として出る。



160

サイン

豊

稲が豊かに実り

今年は大豊作だ



□ 表情が豊かでよく笑う人。



□ 今年はカツオが豊漁だ。



□ 本を読むと知識が豊富になる。



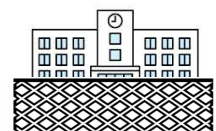
161

サイン

囲

学校の周囲を

フェンスで囲む



□ 花壇を柵で囲う。



□ 公園の周囲に木を植える。



□ 城の周りは敵に包囲された。



団

応援団の団長が
旗を振って指揮をする



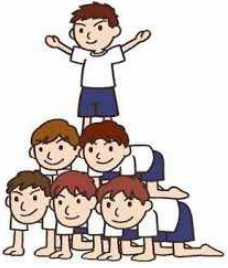
運動会団体戦の綱引き。



集団(分団)登校で学校に行く。



全員の団結力が実を結んだ。



経

失敗の
経験を経て成長する



会社を経営している社長さん。



時間の経過と共に変化する形。

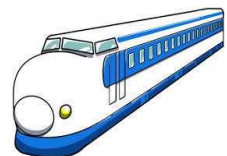


車より電車の方が経済的だ。



幹

木の幹のように
日本を貫く新幹線



曲がりくねった松の幹。



主な道路を幹線道路という。



中心となって働く人が幹部。



162

団

応援^{えん}団の団長^{だん}が
旗^はを振^ふって指^さ揮^きをする



サイン

□運動会団体戦の綱^{つな}引き。



□集^{しゆ}団^{だん}(分^{ぶん}団^{だん})登^{のぼ}校^{がう}で学^{がく}校^{がう}に^に行^いく。



□全^{ぜん}員^{いん}の団^{だん}結^{けつ}力^{りき}が実^じを結^{むす}んだ。



163

経

失^し敗^{ぱい}の
経^{けい}験^{けん}を^を経^へて成^{せい}長^{ちやう}する



サイン

□会^{かい}社^{しゃ}を^を経^{けい}営^{えい}し^てい^る社^{しゃ}長^{ちやう}さ^ん。



□時^じ間^{かん}の^の経^{けい}過^かと^と共^いに^に変^{へん}化^かする^る形^{かたち}。



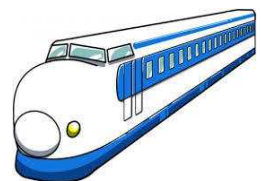
□車^{くるま}よ^り電^{でん}車^{しや}の^の方^{かた}が^が経^{けい}済^{さい}的^{てき}だ。



164

幹

木^きの^の幹^{かん}の^のよ^よう^うに
日^{にっ}本^{ぽん}を^を貫^{つらぬ}く^く新^{しん}幹^{かん}線^{せん}



サイン

□曲^{まが}り^りく^くね^ねった^た松^{まつ}の^の幹^{かん}。



□主^{しゅ}な^な道^{みち}路^ろを^を幹^{かん}線^{せん}道^{みち}路^ろと^とい^いう。



□中^{ちゅう}心^{しん}と^とな^なって^て働^{はたら}く^く人^{ひと}が^が幹^{かん}部^ぶ。



慣

はやお
早起きを

つづ
続けて慣れて今では習慣
しゅうかん



かんようく
慣用句「習うより慣れろ」。



あさお
朝起きたら顔を洗う習慣。
しゅうかん



しょうがつ
正月に雑煮を食べる習慣。
かんしゅう



検

けんさ
検査・点検
てんけん

けん
「検」は調べるという意味



ぼうさい
防災に関する点検を行う。



けんていしけん
そろばんの検定試験に合格。
ごうかく



けんさ
検査の結果、異常無しだった。



築

いしがき
石垣を築き
きず

あづちじょう
安土城を築城した信長
のぶなが



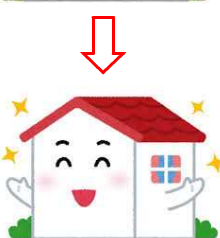
へいわ
平和な未来を築くのは君達だ。
きみたち



けんちく
建築の許可が下りた建物。
たてもの



ふるいえ
古い家を改築してリフォーム。



慣

早起きを

続けて慣れて今では習慣



□慣用句「習うより慣れろ」。



□朝起きたら顔を洗う習慣。



□正月に雑煮を食べる慣習。



検

検査・点検

「検」は調べるという意味



□防災に関する点検を行う。



□そろばんの検定試験に合格。



□検査の結果、異常無しだった。



築

石垣がきを築き

安土城を築城した信長



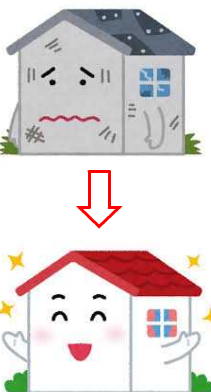
□平和な未来を築くのは君達だ。



□建築の許可が下りた建物。



□古い家を改築してリフォーム。



鋁

鉄てつや銅どうの金属きんぞくを
含ふくんだ石いしが「鉾石こうせき」



□鉄てつの原料げんりょうとなる鉄鉱石てっこうせき。



□ダイヤモンドや金きんは鉱物こうぶつだ。

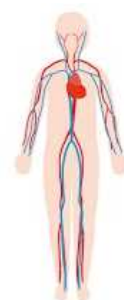


□石炭を掘り出す所が炭鉱。



脈

体内の血管二種類
動脈・静脈



□**手首**^{てくび}のところで**脈**^{みやく}を**測**^{はか}る。



□ 山々が連なつた山脈。



□ 鉱山こうざんで銀ぎんの鉱脈こうみやくがみみつかる。



航

航海・航空
「航」は真つ直ぐ進むこと



□ 太平洋を船で航海する。



□悪天候で飛行機が欠航した。



□ 航空便こうくうびんで荷物にもつを送るおく。



168

鉱

鉄や銅の金属を
含んだ石が「鉱石」



鉄の原料となる鉄鉱石。



ダイヤモンドや金は鉱物だ。



石炭を掘り出す所が炭鉱。



サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

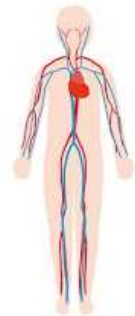
サイン

サイン

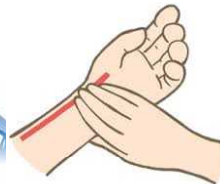
脈

体内の

血管二種類 動脈・静脈



手首のところで脈を測る。



山々が連なった山脈。



鉱山で銀の鉱脈が見つかる。



169

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

航

航海・航空

「航」は真っ直ぐ進むこと



太平洋を船で航海する。



悪天候で飛行機が欠航した。



航空便で荷物を送る。



170

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

サイン

171

サイン

費

七年を費やし多額の

費用をかけ完成した黒部ダム



□長い時間を費やして話し合う。



□毎月、給食費を払っている。



□電力の消費量が年々増える。



172

サイン

績

努力したおかげで

成績が上がった



□新しい元素を発見した功績。



キュリー夫人

□今までの実績が認められた。



□会社の業績が上がる。



173

サイン

設

気軽に相談できる

常設の相談窓口まどを設けた



□花火見物の席を設ける。



□新しい校舎の設計図。



□外国語の案内板を設置する。



居

居心地のいい都会に
転居する若者



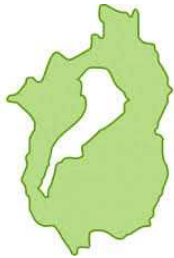
居間で
のんびりテレビを
見る。



木造の住居に
住んでいる。



私の居住地は
滋賀県だ。



厚

温厚で人情に厚い
私の祖父



分厚い本を最後まで
読み通す。



手厚い看護を受け
病気が治る。

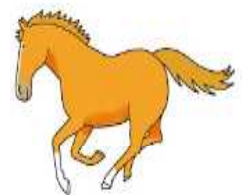


人の厚意は素直に
受けよう。



暴

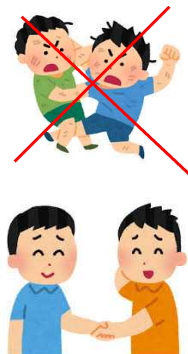
馬が暴れて
道を暴走



教室の中で
暴れてはいけない。



暴力を許さず話し
合いで解決。



暴風に備えるための
防風林。



174

居

居心地のいい都会に

転居する若者^{わか}

□ 居間で のんびり テレビを見る。



□ 木造の住居に住んでいる。

□ 私^{わたし}の居住地は滋賀県だ。

175

厚

温厚で人情に厚い

私^{わたし}の祖父

□ 分厚い本を最後まで読み通す。

□ 手厚い看護^{かん}を受け病気が治る。

□ 人の厚意は素直に受けよう。

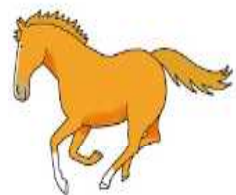


176

暴

馬が暴れて

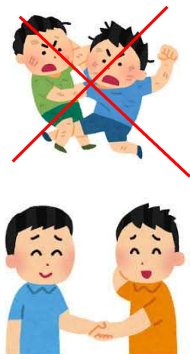
道を暴走



□ 教室の中で暴れてはいけない。



□ 暴力を許さず話し合いで解決。



□ 暴風に備えるための防風林。



許

「してよい」と

許すことを「許可」という



□二度と失敗は許されない。



□自動車の運転免許証を取得。



□早口言葉「東京特許許可局」。



可

この先は

許可が無ければ入れません



□この岩を動かすのは不可能だ。



□学級会の議案を可決する。



□人間の可能性は無限だ。



謝

「謝罪」とは

「ごめんなさい」と謝ること



□自然の恵みに感謝する。



□代表して感謝の言葉を述べる。



□重病で面会謝絶の状態。



177

サイン

許

「してよい」と

許すことを「許可」という



□二度と失敗は許されない。



□自動車の運転免許証を取得。



□早口言葉「東京特許許可局」。



178

サイン

可

この先は

許可が無ければ入れません



□この岩を動かすのは不可能だ。



□学級会の議案を可決する。



□人間の可能性は無限だ。



179

サイン

謝

「謝罪」とは

「ごめんなさい」と謝ること



□自然の恵みに感謝する。



□代表して感謝の言葉を述べる。



□重病で面会謝絶の状態。



採

大きな窓から光を
採り入れる採光のいい部屋



野菜を採りに畑へ行く祖母。



先生がテストの採点をした。



僕の趣味は昆虫採集です。



評

安くてうまいと
評判のラーメン店



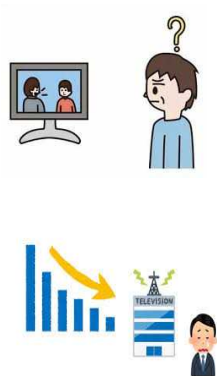
僕の作品は高い評価を受けた。



この映画は非常に好評だ。



このドラマは不評だった。



授

卒業証書を授ける
卒業証書授与式



学校の授業で一番好きな体育。



大学教授が学生に講義をする。



熟練の技を弟子に伝授する。



180

採

大きな窓から光を
採り入れる採光のいい部屋



サイン

□野菜を採りに畑へ行く祖母。



□先生がテストの採点をした。



□僕の趣味は昆虫採集です。



181

評

安くてうまいと
評判のラーメン店



サイン

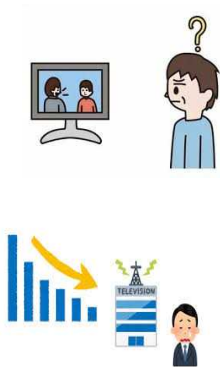
□僕の作品は高い評価を受けた。



□この映画は非常に好評だ。



□このドラマは不評だった。



182

授

卒業証書を授ける
卒業証書授与式



サイン

□学校の授業で一番好きな体育。



□大学教授が学生に講義をする。



□熟練の技を弟子に伝授する。



備

緊急の事態に備え
非常袋を準備する



備えあれば憂い無し。



□ キャンプの備品をそろえる。



□ 守備の要はゴールキーパーだ。



舎

校舎・牛舎

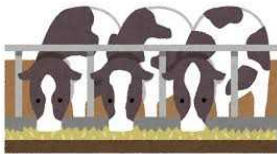


「舎」は「建物」という意味だ

□ 校舎の屋上までの高さを測る。



□ 牛舎で牛を飼う。



□ この駅舎は大正時代の建物だ。



演

演劇・演奏



劇や音楽をするのが「演」

□ シンデレラの役を演じる。



□ 映画に出演する役者。



□ 公園で人形劇の公演を見た。



183

サイン

備

緊急きんの事態に備え非常袋ひょうふくろを準備する□ 備えあれば憂うれい無し。

□ キャンプの備品をそろえる。



□ 守備の要はゴールキーパーだ。



184

サイン

舎

校舎・牛舎

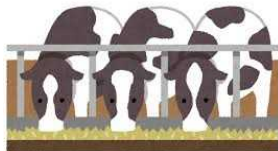
「舎」は「建物」という意味だ



□ 校舎の屋上までの高さを測る。



□ 牛舎で牛を飼う。



□ この駅舎は大正時代の建物だ。



185

サイン

演

演劇・演奏げき げき そう

劇や音楽をするのが「演」



□ シンデレラの役を演じる。

□ 映画えいに出演する役者。□ 公園で人形劇げきの公演を見た。

税

国民の税金で
政治が行われる



□ 学校や道路は税金で作られる。



□ 買った品物に消費税がかかる。



□ 外国からの品物にける関税。



余

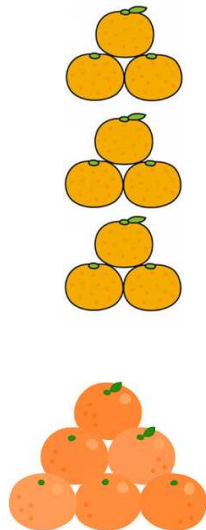
勉強や仕事以外の
余った時間を「余暇」という



□ 布の余りで人形を作る。



□ 三個ずつ配り余分は残す。



□ 余計な言葉は削って作る短歌。



素

素直で素朴な
人柄の少女ハイジ



□ 食品に含まれる
様々な栄養素。



□ 君は画家になる素質がある。



□ 素足で川に入ると気持ちいい。



税

国民の税金で
政治が行われる



□ 学校や道路は税金で作られる。



□ 買った品物に消費税がかかる。



□ 外国からの品物にける関税。



余

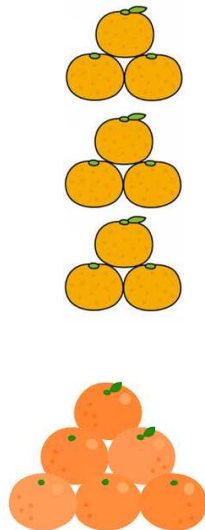
勉強や仕事以外の
余った時間を「余暇」という



□ 布の余りで人形を作る。



□ 三個ずつ配り余分は残す。



□ 余計な言葉は削^{けず}って作る短歌。



素

素直で素朴な
人柄の少女ハイジ



□ 食品に含まれる
様々な栄養素。



□ 君は画家になる素質がある。



□ 素足で川に入ると気持ちいい。



財

金銀財宝
きんぎんざいほう巨万の富を手にした秀吉
きよまん とみ て ひでよし

□ 祖父は苦勞して財産を残した。
そふ くろう さいさん のこ

□ 重要文化財に指定された仏像。
じゅうようぶん かざい してい ぶつぞう



□ 財布を落としてしまった。
さいふ お



貯

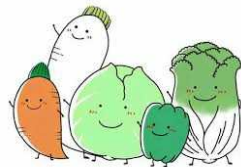
こつこつと

小銭を集めて
こぜに あつ貯金が増える
ちよきん ふう

□ お年玉を貯金箱に入れる。
としだま ちよきんばこ い



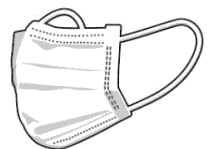
□ 冷蔵庫に野菜を貯蔵する。
れいぞうこ やさい ちよぞう



□ 貯水池の水量が減った。
ちよすい ち すいりよう へ



布

不織布は
ふしよく ふ糸で織らない布のこと
いと お ぬの

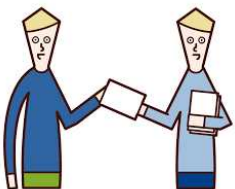
□ 緑の布地でエプロンを作る。
みどり ぬの じ 作る



□ 毛布にくるまって寝る。
もうふ ね



□ 街頭でチラシを配布する。
がいとう はいふ



189

財

金銀財宝きんぎんざいほう巨万きよばんの富ふを手てにした秀吉ひでよし

□祖父は苦勞して財産を残した。



□重要文化財に指定された仏像。



□財布を落としてしまった。



190

貯

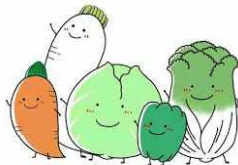
こつこつと

小銭せにを集めて

貯金が増える



□お年玉を貯金箱に入れる。

□冷蔵庫ぞうこに野菜を貯蔵ぞうぞうする。

□貯水池の水量が減った。

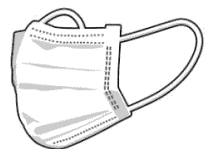


191

布

不織布は

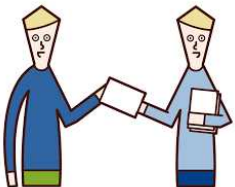
糸で織らない布のこと



□緑の布地でエプロンを作る。

□毛布けふにくるまって寝る。

□街頭でチラシを配布する。



告

「告げ口は

やめよう。」と友に忠告



□ 転校する友達に別れを告げる。



□ 新聞に広告が入っている。



□ 調査した結果を報告する。



務

義務教育を

受けさせることは

親の務めです



□ 図書委員を務める。



□ 重要な任務を任された。



□ 会社の事務員として働く母。



告

「告げ口は

やめよう。」と友に忠告

ちゅう



□ 転校する友達に別れを告げる。



□ 新聞に広告が入っている。



□ 調査した結果を報告する。



務

義務教育を

受けさせることは

親の務めです



□ 図書委員を務める。



□ 重要な任務を任された。



□ 会社の事務員として働く母。



3学期の漢字

たしかめ 32

160	159	158	157	156
豊	証	能	製	似
稲 ^{いね} が豊かに実り今年は大豊作だ。	身分証明書を見せる。	努力して不可能を可能にする。	石油からいろんな製品が製造される。	母には和服がよく似合う。

たしかめ 33

165	164	163	162	161
慣	幹	経	団	囲
早起きが続けて慣れて今では習慣。	木の幹のように日本を貫 ^{つらぬ} く新幹線。	失敗の経験を経て成長する。	集団登校で学校に行く。	学校の周囲をフェンスで囲む。

たしかめ 34

170	169	168	167	166
航	脈	鉱	築	検
航空便で荷物を送る。	山々が連なった山脈。	鉄の原料となる鉄鉱石。	石垣 ^{がき} を築き安土城を築城した信長。	防災に関する点検を行う。

たしかめ 35

175	174	173	172	171
厚	居	設	績	費
温厚で人情に厚 ^{わかし} い私の祖父。	居心地のいい都会に転居 ^{わか} する若者。	常設の相談窓口 ^{まど} を設けた。	努力したおかげで成績が上がった。	七年を費やし多額の費用をかけた黒部ダム。

たしかめ

32

160	159	158	157	156
稲 ^{いね} がゆたかにみのり	みぶんしょうめいしよをみせる。	どりよくしてふ ^か 可 ^か のうを可 ^か のうにする。	せきゆからいろんなせいひんがせいぞうされる。	はにはわふくがよくにあう。
ことはだいほうさくだ。				

たしかめ

33

165	164	163	162	161
はやおきをつづけてなれて	きのみきのようににほんを貫 ^{つらぬ} く	しっぱいのけいけんをへてせいちようする。	しゅうだんとうこうでがつこうにいく。	がつこうのしゅういをフェンスでかこむ。
いまではしゅうかん。				

たしかめ

34

170	169	168	167	166
こうくうびんでにもつをおくる。	やまやまがつらなつたさんみやく。	てつのげんりようとなるてつこうせき。	いし垣 ^{がき} をきずきあづちじようをちくじようしたのぶなが。	ぼうさいにかんするてんけんをおこなう。

たしかめ

35

175	174	173	172	171
おんこうでにんじようにあつい私 ^{わたし} のそふ。	いごこちのいいとかいにてんきよする若 ^{わか} もの。	じようせつのそうだん窓 ^{まど} ぐちをもうけた。	どりよくしたおかげでせいせきがあがった。	しちねんをついやしたかくのひようをかけたくろべダム。

たしかめ

36

180	179	178	177	176
採	謝	可	許	暴
野菜を採りに畑へ行く祖母。	謝罪とは「ごめんなさい」と謝ること。	この先は許可が無ければ入れません。	二度と失敗は許されない。	馬が暴れて道を暴走。

たしかめ

37

185	184	183	182	181
演	舎	備	授	評
公園で人形劇 <small>げき</small> の公演を見た。	校舎の屋上までの高さを測る。	緊急 <small>きん</small> の事態に備え非常袋 <small>ひょうくろ</small> を準備する。	学校の授業で一番好きな体育。	安くてうまいと評判のラーメン店。

たしかめ

38

190	189	188	187	186
貯	財	素	余	税
貯水池の水量が減った。	祖父は苦勞して財産を残した。	君は画家になる素質がある。	勉強や仕事以外の余った時間が余暇 <small>か</small> 。	国民の税金で政治が行われる。

たしかめ

39

193	192	191
務	告	布
義務教育を受けさせるのは親の務めだ。	「告げ口はやめよう。」と友に忠告 <small>ちゅうこ</small> 。	不織布は、糸で織らない布のこと。

たしかめ

36

うまが あばれて みちを ぼうそう。

にとと しっぱいは ゆるされない。

このさきはきよかなければはいれません。

「しゃざいとは『ごめんなさい』とあやまること。」

やさいをとりにはたけへいくぞぼ。

たしかめ

37

やすくて うまいと ひょうばんの ラーメンでん。

がっこうの　じゅぎょうで　いちばん　すきな
たいいく。

緊きんきゆうのじたいにそなえひじよう袋ぶくろを
じゅんびする。

こうしやのおくじょうまでのたかさはかる。

こうえんでにんぎょう劇のこうえんをみた。

たしかめ

38

こくみんのぜいきんでせいじがおこなわれる。

よ暇。 かべんきようやしごといがいのあまったじかんが

きみは がかになる そしつがある。

そふはくろうしてさいさんをのこした。

ちよすいちのすいりょうがへった。

たしかめ

39

ふしよくふは、いとでおらないぬのこと。

「つげぐちはやめよう。」とともに 忠こく。
ちゅう

ぎむきよういくをうけさせるのはおやのつとめだ。

たしかめ

38

こくみんのぜいきんでせいじがおこなわれる。

よ暇。 かべんきようやしごといがいのあまったじかんが

きみは がかになる そしつがある。

そふはくろうしてさいさんをのこした。

ちよすいちのすいりょうがへった。

たしかめ

39

ふしよくふは、いとでおらないぬのこと。

「つげぐちはやめよう。」とともに 忠こく。
ちゅう

ぎむきよういくをうけさせるのはおやのつとめだ。

3学期の漢字

たしかめ 32

160	159	158	157	156
豊	証	能	製	似
稲 ^{いね} が豊かに実り今年は大豊作だ。	身分証明書を見せる。	努力して不可能を可能にする。	石油からいろんな製品が製造される。	母には和服がよく似合う。

たしかめ 33

165	164	163	162	161
慣	幹	経	団	囲
早起きが続けて慣れて今では習慣。	木の幹のように日本を貫 ^{つらぬ} く新幹線。	失敗の経験を経て成長する。	集団登校で学校に行く。	学校の周囲をフェンスで囲む。

たしかめ 34

170	169	168	167	166
航	脈	鉱	築	検
航空便で荷物を送る。	山々が連なった山脈。	鉄の原料となる鉄鉱石。	石垣 ^{がき} を築き安土城を築城した信長。	防災に関する点検を行う。

たしかめ 35

175	174	173	172	171
厚	居	設	績	費
温厚で人情に厚い ^{わかし} 私の祖父。	居心地のいい都会に転居 ^{わか} する若者。	常設の相談窓口 ^{まど} を設けた。	努力したおかげで成績が上がった。	七年を費やし多額の費用をかけた黒部ダム。

たしかめ

32

160	159	158	157	156
稲 ^{いね} がゆたかにみのり	みぶんしょうめいしよをみせる。	どりよくしてふ ^か 可 ^か のうを可 ^か のうにする。	せきゆからいろんなせいひんがせいぞうされる。	はにはわふくがよくにあう。
ことはだいほうさくだ。				

たしかめ

33

165	164	163	162	161
はやおきをつづけてなれて	きのみきのようににほんを貫 ^{つらぬ} く	しっぱいのけいけんをへてせいちようする。	しゅうだんとうこうでがつこうにいく。	がつこうのしゅういをフェンスでかこむ。
いまではしゅうかん。				

たしかめ

34

170	169	168	167	166
こうくうびんでにもつをおくる。	やまやまがつらなつたさんみやく。	てつのげんりようとなるてつこうせき。	いし垣 ^{がき} をきずきあづちじようをちくじようしたのぶなが。	ぼうさいにかんするてんけんをおこなう。

たしかめ

35

175	174	173	172	171
おんこうでにんじようにあつい私 ^{わたし} のそふ。	いごこちのいいとかいにてんきよする若 ^{わか} もの。	じようせつのそうだん窓 ^{まど} ぐちをもうけた。	どりよくしたおかげでせいせきがあがった。	しちねんをついやしたかくのひようをかけたくろべダム。

たしかめ

36

180	179	178	177	176
採	謝	可	許	暴
野菜を採りに畑へ行く祖母。	謝罪とは「ごめんなさい」と謝ること。	この先は許可が無ければ入れません。	二度と失敗は許されない。	馬が暴れて道を暴走。

たしかめ

37

185	184	183	182	181
演	舎	備	授	評
公園で人形劇 <small>げき</small> の公演を見た。	校舎の屋上までの高さを測る。	緊急 <small>きん</small> の事態に備え非常袋 <small>ふくろ</small> を準備する。	学校の授業で一番好きな体育。	安くてうまいと評判のラーメン店。

たしかめ

38

190	189	188	187	186
貯	財	素	余	税
貯水池の水量が減った。	祖父は苦勞して財産を残した。	君は画家になる素質がある。	勉強や仕事以外の余った時間が余暇 <small>か</small> 。	国民の税金で政治が行われる。

たしかめ

39

193	192	191
務	告	布
義務教育を受けさせるのは親の務めだ。	「告げ口はやめよう。」と友に忠告 <small>ちゅうこ</small> 。	不織布は、糸で織らない布のこと。

たしかめ

36

うまが あばれて みちを ぼうそう。

にとと しっぱいは ゆるされない。

このさきはきよかなければはいれません。

「しゃざいとは『ごめんなさい』とあやまること。」

やさいをとりにはたけへいくぞぼ。

たしかめ

37

やすくて うまいと ひょうばんの ラーメンでん。

がっこうの　じゅぎょうで　いちばん　すきな
たいいく。

緊きんきゆうのじたいにそなえひじよう袋ぶくろを
じゅんびする。

こうしやのおくじょうまでのたかさはかる。

こうえんでにんぎょう劇のこうえんをみた。

たしかめ

38

こくみんのぜいきんでせいじがおこなわれる。

よ暇。 かべんきようやしごといがいのあまったじかんが

きみは がかになる そしつがある。

そふはくろうしてさいさんをのこした。

ちよすいちのすいりょうがへった。

たしかめ

39

ふしよくふは、いとでおらないぬのこと。

「つげぐちはやめよう。」とともに 忠こく。
ちゅう

ぎむきよういくをうけさせるのはおやのつとめだ。

たしかめ

38

こくみんのぜいきんでせいじがおこなわれる。

よ暇。 かべんきようやしごといがいのあまったじかんが

きみは がかになる そしつがある。

そふはくろうしてさいさんをのこした。

ちよすいちのすいりょうがへった。

5年生で習う漢字

1	確	31	属	61	職	91	準	121	再	151	留	181	評
2	現	32	士	62	任	92	墓	122	限	152	犯	182	授
3	個	33	混	63	仏	93	祖	123	効	153	液	183	備
4	複	34	災	64	招	94	迷	124	保	154	程	184	舎
5	絶	35	因	65	状	95	述	125	護	155	武	185	演
6	句	36	興	66	殺	96	快	126	妻	156	似	186	税
7	夢	37	過	67	態	97	損	127	往	157	製	187	余
8	久	38	性	68	仮	98	造	128	復	158	能	188	素
9	情	39	接	69	断	99	寄	129	耕	159	証	189	財
10	像	40	示	70	判	100	非	130	講	160	豊	190	貯
11	増	41	禁	71	測	101	防	131	罪	161	囲	191	布
12	益	42	雑	72	条	102	毒	132	燃	162	団	192	告
13	境	43	酸	73	常	103	責	133	提	163	経	193	務
14	義	44	独	74	均	104	破	134	賞	164	幹		
15	衛	45	構	75	件	105	枝	135	桜	165	慣		
16	眼	46	識	76	故	106	師	136	銅	166	検		
17	救	47	潔	77	政	107	圧	137	貿	167	築		
18	停	48	比	78	編	108	営	138	易	168	鋳		
19	応	49	河	79	刊	109	価	139	規	169	脈		
20	資	50	精	80	象	110	制	140	則	170	航		
21	在	51	版	81	基	111	肥	141	率	171	費		
22	査	52	勢	82	修	112	旧	142	領	172	績		
23	報	53	織	83	適	113	逆	143	張	173	設		
24	得	54	紀	84	序	114	統	144	導	174	居		
25	際	55	永	85	解	115	粉	145	略	175	厚		
26	質	56	志	86	減	116	輸	146	飼	176	暴		
27	移	57	歴	87	格	117	技	147	弁	177	許		
28	総	58	史	88	額	118	術	148	堂	178	可		
29	容	59	喜	89	貸	119	支	149	婦	179	謝		
30	険	60	賛	90	貧	120	型	150	綿	180	採		